



ぜひご家庭でもお読みください

夢を力に変える人 No.5

わがまち独自のエコ活動 全国・世界へ発信中

特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会 (LEAF)

- 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成対象団体レポート
- ソーシャル・ピープル・インタビュー
女優 紺野 美沙子さん
- グループ従業員の ボランティア活動レポート



ソーシャルグッズ
読者プレゼント



阪急阪神ホールディングスグループ

こちら事務局

皆さまの募金を市民団体にお届けしました! 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」2014年度収支報告

皆さまの募金を基に阪急阪神沿線の市民団体を助成する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」。基金設立から6年目となる2014年度は、阪急阪神沿線の市民団体10団体に、総額300万円の助成金(阪急阪神ホールディングスからも同額を上乗せ寄付)をお届けしました。皆さまの募金が増えれば、多くの市民団体に助成できますので、今後もご協力お願いいたします!

2014年度 収支報告 (2014年4月1日~2015年3月31日)

2013年度末残高 1,386,803円

収入 総額 3,724,035円

支出 総額 3,000,000円

2014年度末残高 2,110,838円

支出総額の300万円を市民団体10団体へ寄付。(これに阪急阪神ホールディングスからも同額を上乗せ寄付しています) 詳しくは、プロジェクトHPの従業員向け申請書ダウンロードページをご覧ください。

info



● 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金とは ●

グループ従業員から募金をつくり、会社とともに、地域の市民団体を応援する制度です。1口89円からご参加いただけます。皆さまのご参加お待ちしております!

お届けした募金の使い道は?市民団体の熱いプレゼンを聞こう! 「第6回ゆめ・まち基金 助成報告会」参加者募集

上記の助成対象となった助成先10団体に、活動内容や助成金の使い道、今後の抱負など、熱い思いを語っていただきます。皆さまの募金がどのように活用されているか、ぜひ確かめに来てください。

第1回 日時: 9月8日(火) 18:30~20:00

会場: 阪急電鉄本社ビル 1Fエコルテホール

第2回 日時: 9月11日(金) 16:30~18:00

会場: 阪神電気鉄道本社ビル 10Fホール

社会貢献
ポイント
5ポイント
付与!

終了後の交流会にも
ぜひご参加ください。



参加申込方法: 件名を「助成報告会 参加申込」とし、本文に「参加日」「所属会社・部署名」「参加者名(フリガナ)」「電話番号」「交流会の参加希望の有無」を明記の上、8月31日(月)までにメールまたはFAXで下記のプロジェクト事務局までお申込みください。

※交流会は報告会后30分程度です。

※当日は名刺・社員証などお名前わかる物をお持ちください。

参加者の
voice



助成報告会がきっかけで、 ヘアドネーション(髪の毛の寄付)に挑戦

助成報告会に参加した時に、NPO法人ジャーダック(※)の方とお会いしました。髪の毛を失った子ども達のための医療用ウィッグをつくり、無償で提供している団体です。当時の私はロングヘアで、少し伸ばせば、寄付に必要な長さ(31センチ以上)になることがわかり、これならできそうと伸ばし始めました。先日、髪を切って寄付に至り、頭だけでなく心も軽くなった感じで達成感がありました。

(阪急電鉄(株)経営企画部 九後順子さん)

※Japan Hair Donation & Charity. ゆめ・まち基金の第4回助成先です。

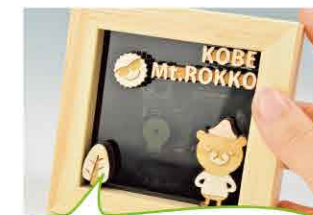
市民団体の方々の職業や経歴は多種多様。あなたの知らない世界が必ずあります☆
基金未参加の方も、ぜひお気軽にお越しください。

ソーシャルグッズ
読者プレゼント



2名様
に
プレゼント

神戸オルゴール
森のフレームオルゴール
手元に置くだけで環境保護に
貢献できるオルゴール



可愛いオルゴールは、お部屋のインテリアにもぴったり。パーツを選んで自分好みにカスタマイズできます。

木目の温かみが味わい深い「森のフレームオルゴール」。ケースに兵庫県産ヒノキの間伐材を使用しています。またカーボンオフセット排出枠つきで、購入するとCO2吸収源である森林の整備などの支援につながり、二重の意味で環境に配慮した商品。また、美しい音のために調律や組付けを職人が丁寧に、こだわりも詰まっています。

問合せ/六甲オルゴールミュージアム
☎078-891-1284 価格/5,616円(税込・パーツ5個付き) 製品情報HP/ http://www.rokko-san.com/museum/news/20141208_7487/ 曲目/Let It Go ありのまままで

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「オルゴール希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切: 2015年7月31日(金)

編集後記

はじめまして!新メンバーの管です。一口に社会貢献といっても中身はさまざま。企業が地域社会にできることは何か、私も勉強しつつ皆様にお伝えできるよう頑張ります!(菅千遥)



古本チャリティが終了いたしました!多くの方にご協力いただき、本当に感謝です。皆様からの想いは、しっかりと団体へお届けいたします。結果は次号でご報告しますね!(朝山千春)



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索



特定非営利活動法人 子ども環境活動支援協会 (LEAF)

わがまち独自のエコ活動 全国・世界へ発信中

Learning and Ecological Activities Foundation for childrenの頭文字を取って、愛称をLEAF(リーフ)という。兵庫県西宮市を拠点に「わがまちを持続可能な地域社会に」という理念のもと、環境学習、里山保全、農業体験、国際協力など多様な活動を展開している。

E WC事業は、かくも大きなプロジェクトなのだ、それはリーフの活動においてほんの一部、だというから驚きである。設立から17年、樹木が枝葉を伸ばすように、リーフは様々な方面へと取り組みを進化させてきた。結果、ひとこと「こんな団体です」と表現できないほどバラエティに富んだプログラムを展開。そんな総合力こそがリーフの個性であり魅力だといえるだろう。

例えば「里山保全」。六甲山系の社郷山をボランティアと共に整備する活動を続けている。また、第一次産業が衰退していく危機感から地元農家と企業の協力

当初から関わっていた事務局長の長手聖美さんは振り返る。「エコカードは、その中で生まれた取り組みの二環ですね。」もちろん最初から順風満帆だったわけではない。「小学校を訪問して先生方に説明したり、スタンプを置いていただけよう、お店や施設に「軒ざつアブローチ」をしたり、最初は全く理解されずに門前払いもありました。」しかし、時代と共に環境教育の必要性がクローズアップされるようになり、先生達の口「コミも手伝って、エコカードは浸透していった。」今では、西宮市の文化と言ってもいほど認知されています。他の市町村からの視察も多いんですよ。「EWCの活動は環境省が実践する「子どもエコクラブ」のモデル事業にも選ばれた。西宮市のエコ活動が、全国規模の活動の原型となっているのだ。」



4



3

③子ども達の作品を中心に、地域・企業などが一年間の環境活動を発表する「環境パネル展」を毎年開催。海外からも多くの作品が集まる。④エコカードを持つ5～6年生がクラス全員で一定数のスタンプをためるとエコ活動の企画に使える資金が提供される「エコトレード活動」。資金の授与の様子。⑤市民に食農体験を提供する「甲山農業塾」。阪急阪神 未来のゆめ・まち基金の助成金は、この農地に水道をつくるために使われた。⑥企業・行政が連携して行う社郷山の森林保全を支援。生物多様性の里山へと変えることで防災機能も取り戻す。



1



2

①エコカードは1年から6年まで学年ごとに違う。1～2年は「家庭とのつながり」、3～4年は「地域とのつながり」、5～6年は「社会とのつながり」をテーマに項目が設定されている。②事務局長の長手さん。「スタッフは30数名。それだけの人数で全てのプロジェクトを動かすのは大変ですが、社会貢献に関わる喜びがモチベーションですね。」



6



5

**特定非営利活動法人
子ども環境活動支援協会**

活動を支援する会員を、常時募集中。正会員(個人1口・年会費5,000円)には、情報誌「りいふ」が年3回届くほか、イベントや講演会に無料で参加できます。詳細はお問合わせください。

〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園
1丁目8-1ゆとり生活館「アミ」1F
TEL: 0798-69-1185

E-mail: kodomo@leaf.or.jp
URL: http://leaf.or.jp

を得て「食農体験」も行う。甲山周辺の農地を拠点に、小学生からシニアまでを対象にした農業塾を行っている。さらには、国際協力機構 JICA(ジャイカ)の事業を受託。廃棄物管理について学ぶ海外研修員を受け入れたり、ソロモン諸島におけるゴミの分別収集システムづくりをサポートするなど、活動のステージは世界へ広がっている。

これほど多彩なチャレンジが可能なのはなぜなのか?という問いに「ネットワークに支えられているからです。」と長手さん。「プロジェクトごとにスポンサーを募り、確実な資金調達によって各事業を展開していく。そのためには綿密な調査と魅力的な企画提案が必要だといえるでしょう。」社会的課題を見つけ、事業アイデアに落とし込み、協力の輪を広げていく。発見力、提案力、ネットワーク力。成功するNPO団体に必要なのは、この3つの力だということ。リーフの活動は教え

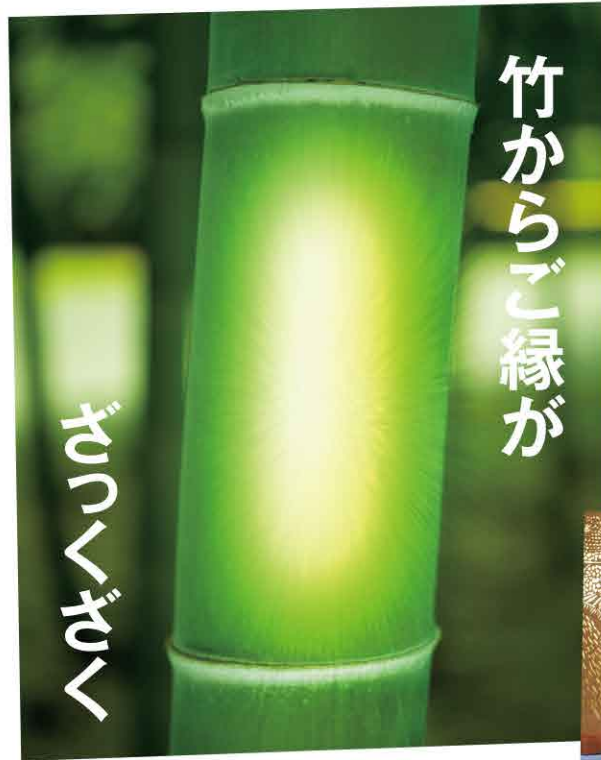
こ のエコカードを西宮市と共同開発し、事務局として運営しているのがNPO法人「子ども環境活動支援協会」。リーフ、という愛称で呼ばれるこの団体が設立されたのは1998年。まだ環境への社会的関心が低かった時代から「持続可能な地域社会づくり」をスローガンに掲げ、多彩な活動を展開してきた。「最初は、川や海での自然観察会を行っていました。そのうちに単発の体験イベントにストーリー性を持たせることで、経験を学びに変えられないか」と試行錯誤。EWC(地球ウォッチングクラブ)という環境学習事業が西宮市で誕生したのです。」と、

西 宮市に住む小学生が持っている「エコカード」をご存知だろうか。学校で、地域のお店や施設で、子ども達が環境に配慮した活動をするたびにスタンプが押されるカードだ。スタンプを10個集めれば「アースレンジャー」の称号を名乗ることができ、特製のワッペンがもらえる。やる気と楽しみを感じつつ環境意識も高まるという、実によくできたシステムである。

エコカードの効果は大きく2つ。1つ目は、今まで何気なくやっていた行動を振り返り、意識できること。ゴミの分別もエコバックも節電も、地球のためなのだと思えてくる。その気づきから価値観が形成されるのだ。2つ目は、子ども達の地域離れを防ぐコミュニケーションツールであること。地域のお店やイベントでもスタンプがもらえるので、地元への愛着が増すのである。

series
54

竹の里、放置はNG! 楽しく整備、新たな価値を。



古くから筍の産地として知られる長岡京。しかし近年は需要が減り、農家の高齢化も影響して竹林が放置されつつある。これを見かねた人々による放置竹林整備のボランティア団体が近隣には多数あるが、そんな団体が連携して結成したのが「長岡京竹あそび連絡協議会」だ。「竹でつなぐ・つながる・まちづくり」をテーマに、放置竹林問題の啓発イベント「長岡京竹あそび」を実施。竹工作、竹灯り点灯など、竹を多彩に楽しむことで親しみや興味につなげ、竹林整備に関心を持ってもらおうという試みが大成功。2009年の開始以来、訪れる人々も参加団体も、どんどん増加。放置竹林整備団体以外の参加も受け入れ、ご当地キャラも登場して、今では近隣住民に大人気の恒例行事に。長岡京のまちおこしにも一役買っている。



毎年10月の「長岡京竹あそび」。会場は長岡公園一帯。夜にはたくさんの竹灯りが美しく灯る。

長岡京竹あそび連絡協議会

TEL: 075-951-0093
E-mail: egawam@kyoto.zaq.ne.jp
URL: http://takeasobi.net/

series
55

映画は観るもの、つくるもの。 こどもの世界がスクリーンで広がる。

スクリーンに映し出される大迫力の映像と、思わず引き込まれる物語に心が震えた経験は、誰しもあるだろう。こども達にとって、映画は今も昔も、気持ちをワクワクさせてくれる魅力的なエンタテインメントである。

「NPO法人キンダーフィルムフェスト・きょうと」は、そんな映画の面白さや奥深さを伝えようと、毎年夏に「京都国際子ども映画祭」を開催している。映画祭では世界各国から収集したこどもが主演の映画を鑑賞でき、こども達は異文化を知ることで視野を広げ、同時に映像を読み取る力も磨くことができる。現代社会に欠かせないメディア・リテラシーを身につけるのだ。希望者は、グランプリ作品を選ぶ審査員、声優や制作スタッフも体験可能。それぞれの役割を楽しみながら、協調性や創意工夫も学べるという。こどもの頃に泣いて笑ったワンシーンはずっと忘れない。大人になるための「心の栄養」を、映画は与えてくれる。

皆で力を合わせて取り組める映画制作ワークショップでこども達の交流も深まる。

NPO法人 キンダーフィルムフェスト・きょうと

TEL: 075-212-8612
E-mail: kinder.kyoto@gmail.com
URL: http://www.kinder-ff-kyoto.com/



アユ ウェア 鮎 ゴーイング?



series
53

森・川・海と人間の暮らし。 全てが“ひとつ”になるために。

「森」に降った雨は「川」に向かい、やがて「海」に至る。誰もが知っていることなのに、こと環境保全となると別個に考えてしまうのはなぜだろう。「豊かな森川海を育てる会」は、森・川・海とまちをひとつながりの循環ととらえ、一体的に保全することが再生につながるカギだと考える団体である。豊かな森・川・海に必要なのは、単に「きれいな水」ではないことをご存知だろうか。ただ水質をきれいにするだけでは、養分までも失われてしまい、生き物が育たない。森から受け継いだ栄養で川や海の生き物が育っていく循環体系があってこそ、豊かな環境と言えるのだ。

同団体は住吉川流域を中心に「森・川・海」それぞれを拠点にした活動を同時に展開中。「森の活動」は六甲山の間伐を行い、落葉樹や広葉樹を植樹すること。生物多様性に富んだ混交林になれば、川に栄養をもたらすと同時に防災機能も高まるのだ。「川の活動」はアユが遡上できる「魚道」づくり。専門家のアドバイスによる本格的な魚道を各所に設けることで、アユの数はここ5年で3~4倍に増えたという。さらに「海の活動」として、魚崎海岸でのイベント「住吉浜まつり」を開催。潮干狩りや生き物観察会などを楽しみながら、参加者は「身近な都会の海に、こんなに多くの生き物がいるなんて!」と驚くという。

森と川と海の再生。実は、同団体の目的はそれだけではない。豊かな自然の再生によって、人々が暮らす「まち」までも変わっていくこと…環境活動と「まちづくり」の融合こそが、真にめざすところなのだ。自宅の玄関を出たら、すぐそこに森があり、アユの泳ぐ川があり、貝が採れる砂浜がある。そんな理想郷を実現すべく、各地の里山や都市河川に、彼らの活動領域は広がりつつある。



下草刈り(森)



魚道づくり(川)



生き物観察会(海)

毎年5月、大潮の日に開催される「住吉浜祭り」は都会のこども達が身近な海に関心を持つ絶好の機会。また住吉川に設けた「アユの魚道」は、国土交通省の「多自然川づくり大会」で大きな評価を得た。

特定非営利活動法人 豊かな森川海を育てる会

活動の趣旨に賛同する会員を個人・団体ともに募集中。遠隔地等で活動に参加できない方による賛助会員制度や、森川海基金も設けています。興味のある方はウェブサイトをご覧ください。電話でもお問合せください。

住所: 〒655-0007 神戸市垂水区多聞台 3-11-12-603
TEL: 078-782-3164
E-mail: shimamoto@mtf.biglobe.ne.jp
URL: http://www.7b.biglobe.ne.jp/~yutakana-morikawaumi/



阪急阪神エクスプレス 佐藤 一徳さん
鎌倉笛田エース/鎌倉市
鎌倉市立深沢小学校を本拠地として活動中。軟式野球を通じて、こどものすこやかな成長をめざしています。

野球を楽しむ子ども達の、元気な姿を見守りたい。

小学生中心の軟式野球チームで、練習や試合、キャンプや小学校行事のボランティアをしています。息子の入部をきっかけに参加して17年。野球とこどもが好きなので、こども達の成長過程を見守れる喜びは格別です。挨拶や片付けなど、しつけも身につく活動ですよ。支援金で古い備品を新調でき、こども達も大喜び!関西だけでなく関東の団体でも支援が受けられると知り驚きました。最近は遊び場とともに野球人口も減っていますが、今後も野球の面白さをこども達に知ってほしいですね。



グループ従業員の ボランティア 活動レポート

2015 vol.2

従業員・OBの皆さまの参加する
ボランティア団体に、会社が3万円を
支援する「ゆめ・まち ええこと応援団」。
昨年度の支援先と、参加従業員・
OBの方のコメントをご紹介します。



ガールスカウト兵庫県 第66団/宝塚市

少女や若い女性を責任ある世界市民に育成

「人のかかわり」「自己啓発」「自然と共に」を3つの柱に活動し、自ら考え、行動できる人を育てます。

阪急電鉄
大藤 恵代さん

関東ライオンズ /大阪市

支援金で多くの大会に参加でき、部員から感謝の声

運動の楽しさ、思いやり、礼儀、協調性…野球で青少年を育成します。

阪急バス
瀧川 文章さん



神田ジュニアバレー ボールクラブ/池田市

小さな子にも使いやすい道具を購入し、練習にも力が

地域のスポーツ振興会と協働し、バレーボールで地域社会の活性化をめざす団体です。

阪急不動産
大熊 勝さん

藤原台少年軟式 野球クラブ/神戸市

継続的に支援金をいただき活動範囲が拡大

野球を通し、ルールを守ることの大切さを知り、仲間と集う楽しさを体感します。

阪急電鉄
依藤 佐登美さん



尼崎市中央南地区 子ども会連絡協議会 /尼崎市

支援金によって人気のバスツアーを開催

こども達主体で活動できる機会をつくることで、社会性を養います。

阪神電気鉄道
浜 武雄さん

市民団体活動参加のススメ

File 10 「みんなの夢の中学部」 校舎建設応援プロジェクト!!

箕面こどもの森学園は、NPO法人の運営する学び舎で、自立と共生をモットーにこども達をのびやかに育てています。小学部の保護者の方達の希望で、2015年4月に中学部が開校されました。2016年には校舎建設(費用2,000万円)をめざしている中学部へのあたたかいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします!



寄付方法: <http://kodomonono-mori.com/chugakubu/kifu.html>をご覧ください。(クレジットカード可)

お問合せ先: NPO法人箕面こどもの森学園
住所: 箕面市小野原西6-15-31 TEL: 072-735-7676
Mail: info@kodomonono-mori.com URL: <http://kodomonono-mori.com/>

File 11 天体観望会&科学工作教室で サイエンスを満喫しよう!!

- A) 月や星をのんびり眺めるスタッフ解説付きの天体観望会。
詳細><http://keihanna-park.net/>のイベント情報
 - B) 身近な材料を使った楽しい科学工作・実験教室!
夏休みの自由研究にも!
- 日時: A) 7/4*, 7/26, 8/20*, 8/30, 9/13, 9/26*, 10/25
B) 7/18~20, 9/5, 9/6
- 場所: A) 京都府立けいはんな記念公園
B) あべのハルカス近鉄本店8F街ステーション
- 参加費: A) ※マークの日程は観月楼で開催のため要入園料
B) 工作材料費として500円程度



お問合せ先: ボランティア団体 てんもんぶ
住所: 京都府木津川市木津町瓦谷96 TEL: 0774-26-4189
Mail: info@tenmonbu.com URL: <http://tenmonbu.com/>



2008年にタンザニアを訪問。経済の中心都市ダルエスサラーム郊外の貧困地域でこども達とふれあった紺野さん。

Social People Interview

女優 紺野 美沙子さん

小さな力も集まれば大きな力 国際協力の現状を伝える

UNDP親善大使として、アジアやアフリカの開発途上国を公式訪問している女優の紺野美沙子さん。一人の女性として、母として、現地で感じることは――。

途上国の実情を 普通の目線で発信

私で何かお役に立つのなら。そんな気持ちで国連開発計画(UNDP)の親善大使をお引き受けたので、最初は知識もほとんどなく、自分に何ができるのかと不安だらけでした。そんな中、初めて視察に行ったカンボジアでは、スラ

ム街や水汲み場の様子を見たり、地雷対策や人身売買問題のお話を伺ったり。数々の衝撃を受けましたが、そんな現実を専門家ではない普通の人の目線で多くの人達に伝えることが、自分の役目なんだとわかりました。親善大使になって17年経ちますが、途上国に行ってもいつも感じるのが、自分という存在の小ささ、弱さです。けれども、だからこそ仲間が少しでも増えていけば大きな力になると感じます。

靴下を丸めた サッカーボール

私は一児の母なので、視察先でも自然にこどもにも目が行きます。タンザニアのある村では、わずか3畳ほどの部屋にお母さんとこども5人ほどが暮らしていました。小学3年生くらいの子が「いつもこれで遊んでいるよ。」と私に見せて

くれたのが、お手製のサッカーボール。古い靴下を何枚もグルグルと丸めたもので、とても大事そうに使っていたんです。その一方で、日本ではまだ使えるボールがその辺に無造作に転がっていたり、こどもがすぐに新しいものを欲しがったり。この差って、いったい何なんだろう。私は物の多さと心の豊かさとは別物だと思っています。ただ、日本とはまったく違う暮らしを見るにつけ、その格差に愕然とし、差を無くすために何かできないか、深く考えさせられますね。

また、活動を通して日常のありがたみより強く実感できるようにもなりました。毎日お風呂に入る事ができたり、犬と散歩をする時間を持てたり。そういう一つひとつが、いかに特別で貴重なものか。それを意識することで、日常のいろいろなことに感謝できるようにもなりました。

社会貢献で 視野が広がることも

親善大使の活動をしていく上でのモットーは、細く長く。本業の女優の仕事はもちろん、家族と過ごす時間も大事だし、買い物もオシャレも楽しみたい。私にとって社会貢献はそういうさまざまな日常生活の一部です。でも、そんなふうに自分の時間を少しだけ誰かのために使おうという人が集まったら、やはり大きな力になるはず。最近はこちらとボランティアをする「チヨボラ」なんて言葉も聞きますが、小さくても自分らしい活動を探して行動してみたいかが、今まで見えなかったものが見えてくることもあるように思います。

Profile 東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。1998年にUNDP親善大使となり、これまで9つの国と地域を公式訪問。東ティモールの植林プロジェクトにも資金援助を行った。「紺野美沙子の朗読座」を主宰し、音楽や影絵などのアートと朗読を組み合わせた公演を行っている。

